

により捉えられた。患者の体動により後頭蓋窩下方側が十分に情報が得られなかった。MRI の画像のように神経と血管の走行を詳細に把握するには適さないが、脳血管と頭蓋骨、脳血管と脳実質との関係が立体的に把握することができ術前の検討に際し非常に有用であった。

くも膜下出血の一般的な症状や片麻痺などの錘体路症状の他に、構音障害、発声困難、眼振などの脳幹部障害や、第6, 7, 8脳神経麻痺, 下位脳神経障害, sleep apneaなどを呈することがある。本例ではVA-PICA動脈瘤が、橋右側で顔面神経を出した部分を圧迫していたことが術中所見からも証明された。

10) 末梢性前下小脳動脈瘤の1手術例

本道 洋昭・河野 充夫
小川 政男・岡崎 秀子 (富山県立中央病院)
長谷川頭士 (脳神経外科)

椎骨脳底動脈瘤の多くは脳底動脈尖端部近傍あるいは後下小脳動脈分岐部に発生する。我々は非常に稀な破裂末梢性前下小脳動脈瘤の1手術例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告した。

症例は65歳女性。平成5年5月31日、突発する耳鳴、めまい、嘔気を生じたが、自宅にて様子を見ていた。その後、歩行障害と食思不振が出現したため発病7日目に当院を受診した。初診時、前頭部痛、項部硬直、見当識障害、左聴力障害、尿失禁、歩行障害が認められた。入院時CTでは左前橋槽に淡い高吸収域を認め、軽度の水頭症を伴っていた。腰椎穿刺にて血性髄液が確認され、くも膜下出血の診断で当科入院となった。ただちに脳血管撮影を施行したが、テント上に動脈瘤はなく、軽度の脳血管攣縮の所見が認められたのみで、後頭蓋窩は動脈硬化が強く十分な検索を行うことができなかった。待機手術の方針として、第29病日に上腕動脈穿刺にて右椎骨動脈撮影を施行したところ、左前下小脳動脈末梢部に動脈瘤が見つかった。第34病日のCTで右側頭頭頂葉に出血性梗塞を生じていたため、その軽快を待って第52病日に左後頭下開頭にて手術を行った。動脈瘤は左第7・8脳神経と第9・10脳神経の間に存在し、第8脳神経は黄色調を呈していた。動脈瘤を第9・10脳神経、小脳から剝離してからneck clippingを試みたが、動脈瘤は硬くクリップは閉じなかった。そこで、前下小脳動脈のproximalとdistalにtemporary clipping(21分)を行い動脈瘤を切開すると、瘤からの出血はなく血栓が充満していた。それを摘出後動脈瘤を切り取り、neckを

完全にフリーにしてから杉田クリップ(20, L型曲)を用いてneck clippingを行った。術後の脳血管撮影で動脈瘤は消失していた。

11) 末梢性前脈絡動脈瘤破裂による脳室内血腫の1例

米岡有一郎・江塚 勇
高井 信行・小田 温 (新潟労災病院)
田村 亨 (脳神経外科)

末梢性脈絡動脈瘤破裂による脳室内血腫を経験したので報告する。症例は69歳男性。既往歴は高血圧のみで、特に感染や外傷の既往はない。突然の嘔気・意識障害で発症、即日当院救急外来へ搬入された。初診時神経学的所見は、JCS; 200, GCS; E1V1M2の4点、呼吸は整、眼球位は両側外転傾向、両瞳孔とも著しい縮瞳を呈し、対光反射は緩慢、四肢に自動運動無く、疼痛に対し徐脳姿勢を呈し、両側バビンスキー反射陽性であった。CT上、第3脳室にまでおよぶ鋳形状脳室内血腫と下角から三角部にかけて右側脳室の拡大を認めた。また血腫の一部に脳室内腫瘍の存在を示唆する低吸収域を認めた。造影CTで脳室内腫瘍は増強されず、AVMや動脈瘤を示す所見は指摘出来なかった。緊急的に両側脳室ドレナージを施行し、以降の急性期は保存的に治療を行った。第13病日に血管撮影を施行し、右末梢性前脈絡動脈瘤を認めた。第15病日に、右後頭開頭にて側脳室三角部を狙い、側頭葉後頭境界よりアプローチし、血腫除去・腫瘍摘出・クリッピングを一期的に施行し得た。脳室内腫瘍はMalformation of choroid plexusという病理診断でAVMは否定的とのことであった。

末梢性前脈絡動脈瘤は稀であり、我々が文献上で渉猟し得た限りにおいて本症例は19例目の報告であり、うち11例がモヤモヤ病合併例であり、モヤモヤ病に合併しないものとしては8例目、Idiopathic caseとするならば4例目の報告となる。

本症例は、破裂末梢性前脈絡動脈瘤・多量の鋳形状脳室内血腫・脳室内腫瘍という3点を、脳室拡大を考慮に入れ、側脳室三角部からアプローチすることにより、幸いにも一期的に解決し得た。末梢性前脈絡動脈瘤の処理のみを考えるならば、下側頭回からのアプローチのほうが、近い過去の文献上でも、一般的である。本症例は比較的頭が小さく脳室が拡大していたため可能だったが、頭の大きさ等を考慮しないと脳動脈瘤までの距離が遠くなり、手術が困難になることも予想される。